

知って欲しい... 考えて欲しい...

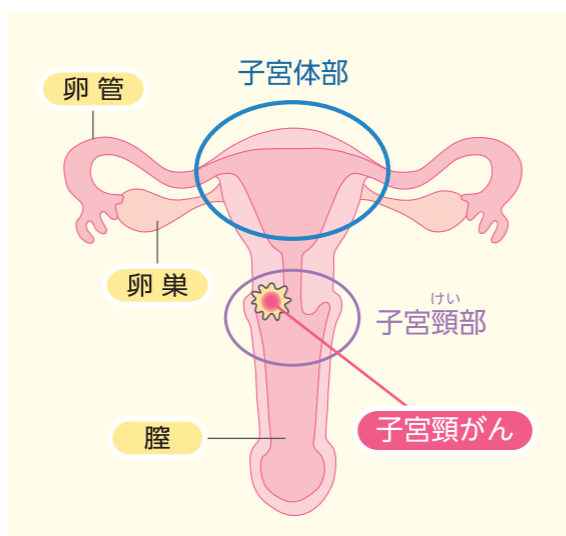
“子宮頸がん予防についての正しい理解のために”

もっと!

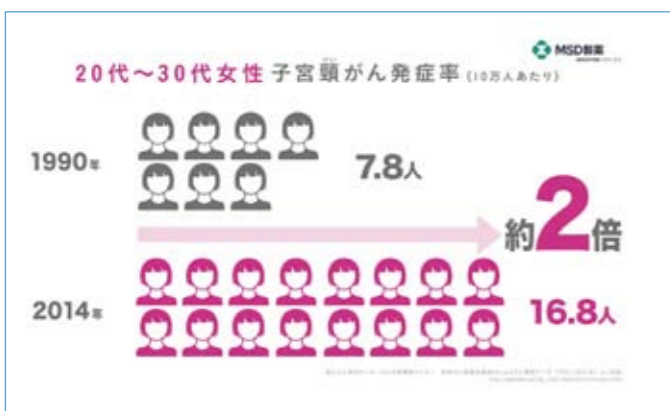
知って欲しい、
ワクチンで防げる病気
“子宮頸がん”



子宮頸がん...って
どんな病気

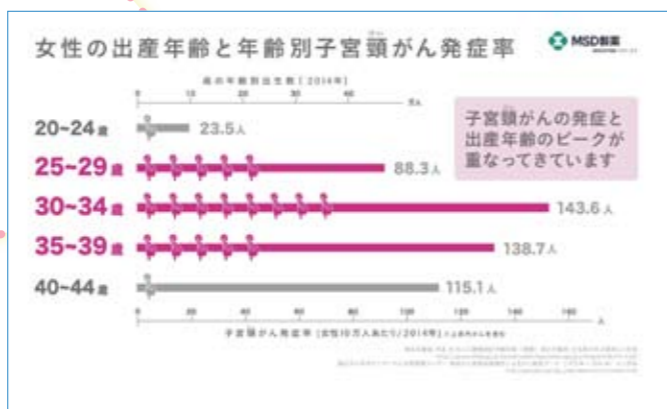


子宮は赤ちゃんを守り育てる臓器で、大きさはニワトリの卵とおなじぐらいです。子宮は子宮頸部と体部の2つに分けられ、子宮頸がんは子宮頸部(子宮の入口部分)に発生します。



日本では、年間約1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約2,800人が亡くなっています。また近年、子宮頸がんは20~30歳代の若い女性での発症が増加しています。

このように働き盛りや子育て世代の若い女性が、子宮頸がんにかかって、妊娠できなくなったり命を失ったりしている現状は、非常に深刻な問題なのです。



子宮頸がんの
原因は...

子宮頸がんの95%以上は、「ヒトパピローマウイルス(HPV)」というウイルスが原因です。



HPVは性交渉によって感染しますが、すべての人が頸がんになるわけではありません。感染しても多くの場合、ウイルスは排除されます。

ところがHPVが排除されず、感染が続くと、数年から数十年をかけて頸がんを発症します。

子宮頸がんを発症すると...

手術で子宮や卵巣、リンパ節を広く摘出したり、放射線治療、抗がん剤治療が行われます。また治療により、頸がんが治ったとしても、妊娠・分娩ができなくなったり、いろいろな後遺症に苦しむ患者さんが少なくないのです。

子宮頸がんを発症すると
どうなるの...

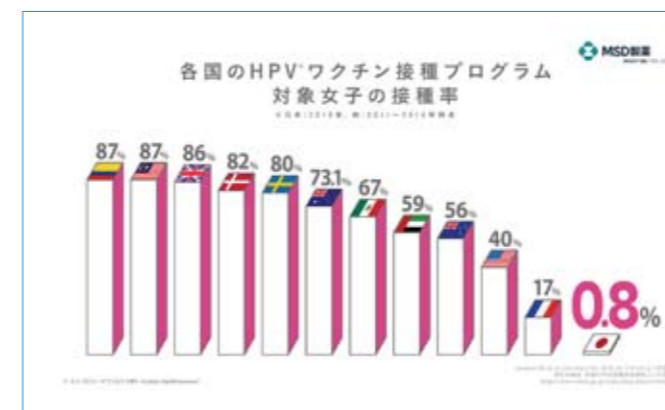


では!

HPVワクチンとは...

HPVは性交渉によって腔や子宮頸部に侵入することで感染しますが、この「侵入」をブロックするのがHPVワクチンです。

HPVワクチンが頸がんの予防に効果があることは、海外のみならず日本からも報告されていますが、日本では、2013年6月に定期接種化の積極的勧奨が差し控えられてから、なかなか接種が進んでおらず、海外に大きく遅れをとっているのが現状です。(2021年11月に積極的勧奨再開が決定)



これはワクチン接種後に体中に痛みを訴えたり、運動障害が出たりするケースが報告されたためですが、現在ではこれらの症状は、ワクチン接種との因果関係は証明されないと結論づけられています。

婦人科受診で
ご相談くださいね!



...MLC鈴木医師もお勧めしています...

将来、日本の多くの女性が、子宮頸がんて子宮を失ったり、命を落としたりする不利益がこれ以上拡大しないようにしてはなりません。われわれはそのために、みなさんに対して子宮頸がん検診の重要性だけでなく、HPVワクチンの正しい知識もお伝えし、多くの方が接種を受けられる体制を作る努力を続けていきます。